

寒さの中にも、ろうばいや水仙の香りにふと春の気配を感じて、安堵とこれから訪れる季節への期待が膨らむ頃となりました。先月、園では家族の無病息災を願う伝統行事「まゆ玉飾り」を行いました。昔から受け継がれてきた風習には、人々の願いや暮らしの知恵が込められており、続いてきたこと自体に大切な意味があると感じます。ミズキにはさまざまな縁起物が飾られています。にこやかな「おかめ」の表情は、日々を笑顔で明るく過ごすことの尊さを伝えてくれます。笑顔の力は、とても大きいですね。

さて、2月7日土曜日は成長展です。今年は『成長展～見て、聞いて、発見！』と題して、作品を見るだけでなく、保護者の皆さまにも実際に体験をしていただく「体験型展示会」です。日々の保育の中で子どもたちの感じていることを親子で共有し、一年間の子どもの成長を感じながら、新たな発見や気づきを持ち帰っていただきたいと思っています。一年の歩みを共に振り返り、かけがえのない今をこれからも大切に重ねていきましょう。



2月の予定



園長 高田綾

月	火	水	木	金	土	日
1 / 2 6	2 7	2 8	2 9	3 0	3 1	2 / 1
2	3 節分	4 はスイミング ※園内研修	5 つは体操教室	6 ※前日準備	7 成長展	8
9 は上川原んち訪問	1 0	1 1 建国記念日	1 2 つは体操教室	1 3 やスイミング	1 4	1 5
1 6	1 7	1 8 つスイミング	1 9 つは体操教室	2 0	2 1 資源回収	2 2
2 3 天皇誕生日	2 4	2 5 はスイミング	2 6 避難訓練 つは体操教室	2 7 つスイミング	2 8	3 / 1
2	3	4	5 つは体操教室	6	7	8

★年長お仕事体験 2/4 (水)午後 ローソンさんにて

※2/4、2/6は18:00までの保育にご協力ください。

* 未来の保育士さん:保育実習生が来ます

- ①2/9(月)~2/24(火) 立正大学社会福祉学部こども教育福祉学科3年生
- ②2/12(木)~3/3(火)浦和大学こども学部こども学科2年生
- ③2/24(火)~3/9(月)立正大学社会福祉学部こども教育福祉学科3年生

* 新しい保育士さんが入職されました♪

…よろしくおねがいます…

☆まゆ玉飾り1月15日☆

毎年恒例のまゆ玉飾り。
年長児の保護者の皆さんにお団子作りのお手伝いをしていただきました。ご参加いただきありがとうございました。子どもたちとご家族皆さんが今年も一年健康で幸せでありますように。



2月生まれ★おたんじょうび★おめでとう



たんじょうびは、生まれてきてくれてありがとうの日。産んでくれてありがとうの日。



てくてく



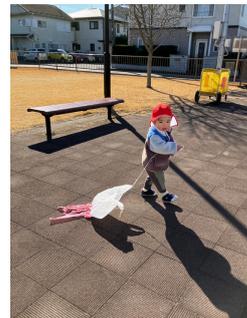
***保育者に仲立ちしてもらいながら、他児とのやり取りを楽しむ(のぞみ)**
***絵本や紙芝居の内容を楽しみながら、子ども達でイメージを広げたり言葉で伝え合うことを楽しむ。(あおば)**

あおば組では友達との関わりの中で「いっしょにあそぼう!」「こうしてみよう!」と子ども達同士で遊びを広げたり、友達が泣いていたたり玩具の取り合いをしていると「だいじょうぶ?」「これあげようか?」と声をかけ仲介に入ろうとする姿が見られました。不安な時には、保育者のところへかけつけ安心する様子も見られますが、子ども同士での関わりややりとりを楽しむ姿が日々多くなってきました。

のぞみ組では、自分の気持ちを表情やジェスチャーで「やだ!」「いいよ!」と全身を使って伝えてくれる姿が見られる様になりました。1人1人の「やだ!」「やってみたい!」の気持ちに寄り添い安心して遊べるよう見守っていきたいと思います。また、全身を上手に使える様になり、ジャンプする、回る、寝転ぶなど様々な動きを楽しむ姿が見られました♪



Rくんに靴下を履かせようとしてくれるSちゃんです。身の回りのことを「じぶんで!」と自力でやろうとする姿が見られる一方、お友達に対して「できるよ! やってあげる!」と手伝おうとすることが増えました。



手作りの凧揚げで遊びました。あおば組の友達が走って凧をあげている様子をよく見ているKくんは真似をして、手に持ちながら走って飛ばして楽しんでいました。

こまち



***落ち着いた雰囲気の中で食事を楽しむ**
***身の回りのことを自分でやり抜こうとする**



日々の生活の中には子ども達の新しい発見と好奇心が溢れています。さまざまな事に興味関心と疑問を持ち、「なぜ?どうして?」と聞いて来る姿がたくさん見られるようになりました。大人が答えを教える事は簡単ですが、子ども自身が「なぜ?」に向き合い、答えを導き出すとする過程が一番輝きを放ちます。子ども達の『なぜ』を大切にしたい活動に取り組んでいきたいと思っています。



ガラス越しに通路の清掃を真剣に見つめる子ども達。「何やってるんだろう?」が時間の経過と共に「お掃除やってるんだ!」に変化していきました。業者の方の真剣な姿、機械が通った後の通路が濡れている、磨き上げている、そんな様子を見て答えを導き出したようです。



昼食後お部屋を走り回って遊んでいた子ども達。体を動かす活動をしたのかと思ってお掃除に誘ってみると「やりたい!」と言って床に落ちたご飯粒を拾い始めました。さっきまで全速力で走っていたのが嘘のように黙々と取り組む姿に子どもの興味が向くところの面白さを感じます。

ぐんぐん



***冬の自然に触れながら外遊びを楽しむ**
***異年齢児との活動や遊びを通して、繋がりを深める。**



冬のお友達との関わりをよろこぶ姿も見られるようになり、他のクラスにお手伝いに行く場面も増えてきました。今月も心と体をいっぱい使って集団で遊び、子どもたち同士お互いの気持ちを想像しながら繋がりを深められるよう見守り元気に過ごしていきたいと思っています。



絵の具を使った制作をしていたら、子ども達は紙よりも先に自分の手に絵の具を塗り始めていました。向かい合っているお友達と「冷たいね」「色がどんどん混ざっていくね」とお話ししながら、肌に触れる感触や色の変化を楽しんでいました。絵の具は描くものでもあり触るものでもあるのです。



緑のマットをお布団に見立てて横になっているところです! 「ここは家だから、靴脱ごう」「靴はここだから、玄関ね」と子ども達の頭の中にはお家の間取りができていた様子でした。お互いにイメージの共有ができること、わかり合いの第一歩ですね。